

型 番 ZA-90001・ZA-90002

お客様へ




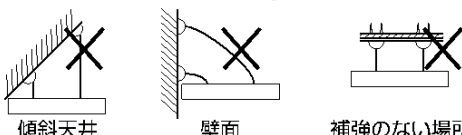




器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。






保存用

工事店様へ

施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

【安全上のご注意】

 警 告		この表示を無視して誤った取り扱いをすると 死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	
 厳守	器具の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。	 禁止	器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。
	このような場所には取付けないでください。 この器具は天井取付専用器具です。 傾斜天井・壁などには取付けできません。不安定な場所やベニヤ板などの強度の弱い場所、使用後のネジ穴には取付けないでください。 →器具の落下によるけがの原因になります。 		器具やランプを布や紙などでおおって使用しないでください。 →火災の原因になります。
 禁止	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。	 アース工事	アース端子(線)がついている器具は必ず電気設備の技術基準に従って、接地(アース)工事を行ってください。 →アースが不完全な場合、感電の原因になります。
			電源コードが損傷した場合(芯線の露出・断線など)、速やかに電源を切り、工事店・電器店に修理を依頼してください。 →そのまま使用しますと、火災・感電の原因になります。
 分解禁止	電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。 →電源コードが損傷し、火災・感電の原因になります。	 厳守	異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。 →放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。

 注 意		この表示を無視して誤った取り扱いをすると 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。	
 接触禁止	点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。 →やけどの原因になります。	 禁止	ライトコントローラなどの調光器との併用はできません。 →火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。
	この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外では使用できません。 →火災・感電の原因になります。		器具の下にストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。 →火災の原因になります。
 禁止	周囲温度5～35℃、湿度45～85%の環境以外では使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。	 厳守	表示された電源電圧(AC200V)以外の電源で使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。
	エアコンの吹き出し口の前など常時風の当たる場所や強い風の当たる場所には取付けないでください。 →落下によるけがの原因になります。		

保証とアフターサービスについて

保証について

- ・この照明器具の保証期間は、製品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯器具・HID器具の安定器、LED電源、LEDモジュールは3年間です。
- ・ランプ(LED電球含む)、グロー点灯管、電池などの消耗品は対象外です。
- ・24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。
- ・取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間中に故障した場合に無償修理させていただきます。

修理を依頼されるとき

- ・ご使用中に異常が生じた場合は、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。
- ・ご贈答品やご転居などでお買い上げの販売店(工事店)にご相談できない場合や、アフターサービスに関するご相談、ご不明点は、別紙「お客様相談窓口のご案内」各窓口までお問い合わせください。

■定格

型 番	定格電圧	周波数	消費電力	使用ランプ
ZA-90001・ZA-90002	AC200V	50/60Hz 共用	159W	LEDユニット+FHf 54S×2

■施工前の確認

1 器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する

取付ボルトはW3/8またはM10を使用する。

2 取付面がクロス貼りの場合

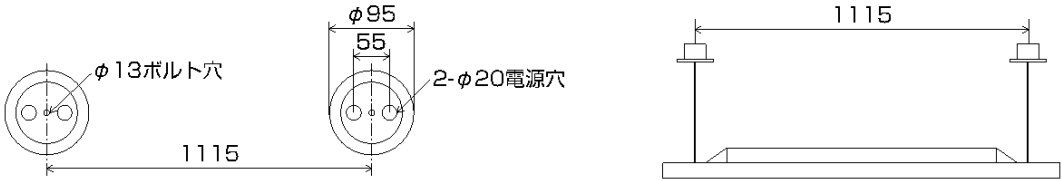
接着剤が十分に乾燥してから器具を取付ける。
変色やサビの原因になります。

3 天井に埋込穴をあける

4 取付ピッチ

下図は器具を取付面から見た図です。

電源用ワイヤー吊具(別売：ZA-96855)用穴(1ヶ)とワイヤー吊具(別売：ZA-96856)用穴(1ヶ)が必要です。

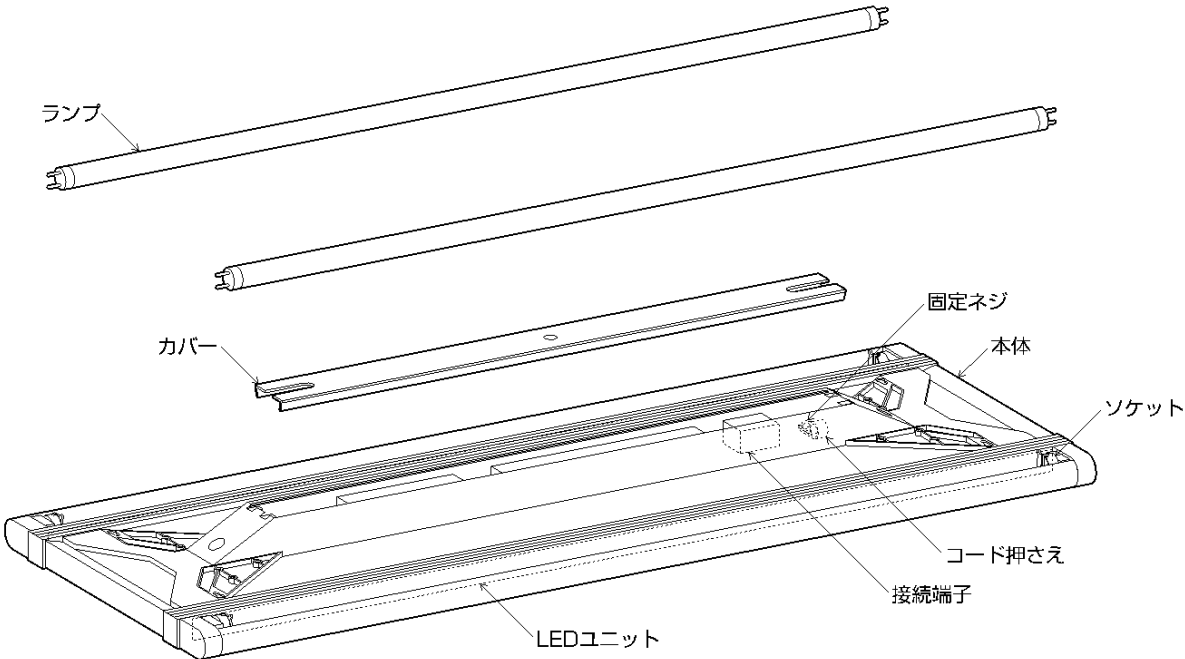


5 器具の取付けは2人で作業する

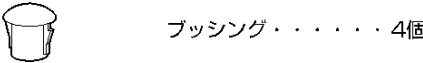
器具の落下によるけがの原因になります。

■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。

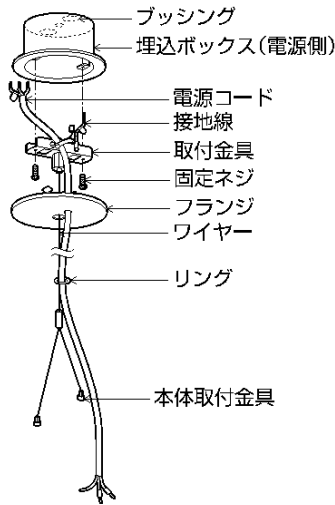


〈付属部品〉

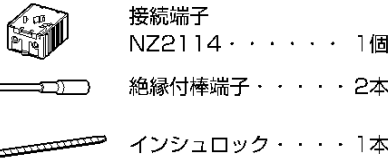


プッシング・・・・・・・・４個

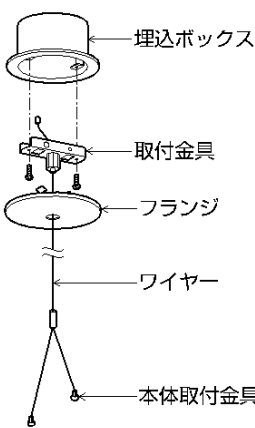
＜電源用ワイヤー吊具(別売)＞
ZA-96855



〈付属部品〉



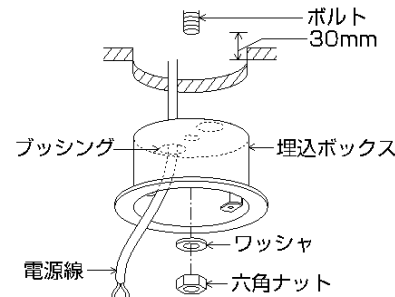
＜ワイヤー吊具(別売)＞
ZA-96856



1 ワイヤー吊具（別売：ZA-96855・ZA-96856）の埋込ボックスを取付ける

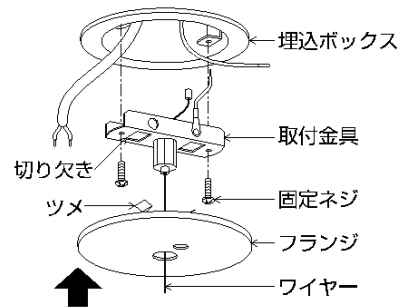
埋込ボックスの電源穴に電源線を通し、ボルトにワッシャ、六角ナット(市販品)で取付ける。

※電源側の埋込ボックスには、取付金具に接地線、埋込ボックスにブッシングが付いています。



2 取付金具を取付ける

取付金具を埋込ボックスに合わせ、固定ネジで取付けた後、フランジにワイヤーを通して、フランジのツメを取付金具の切り欠きにはめ込んでおく。

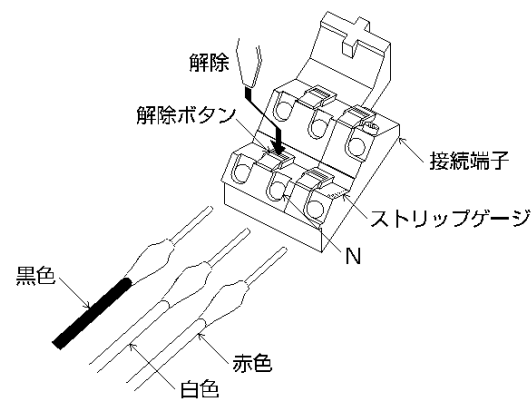


3 電源コードを接続する

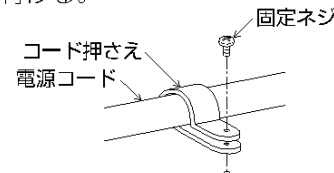
①電源用ワイヤー吊具（別売：ZA-96855）に付属している電源コードの棒端子側を、接続端子に確実に差し込む。
また、送り配線は照明器具専用とする。
(送り総容量5A)
はずす時は解除ボタンを押し、電源コードを抜く。

※D種(第三種)接地工事を行なう。

⚠警告 電源の接続を確実に行ってください。
接続が不完全な場合や容量オーバーした場合は火災の原因になります。

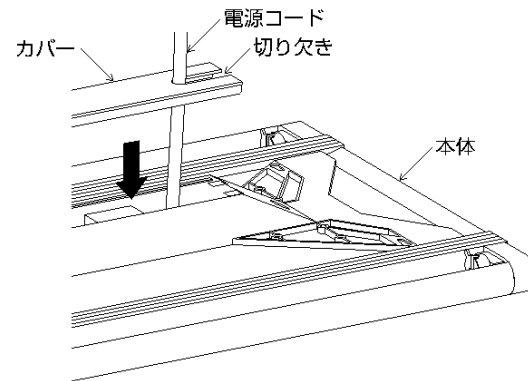


②あらかじめ取付けられたコード押さえを一旦外し、電源コードをコード押さえにはめ込み、固定ネジで取付ける。



4 カバーを取付ける

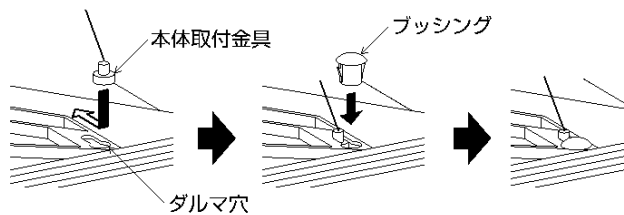
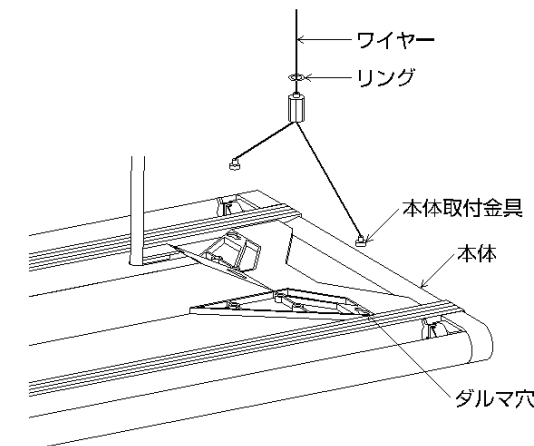
カバーの切り欠き部に電源コードを通し、カバーを本体に取付ける。



5 本体を取付ける

①電源側のワイヤーにリングを通す。
②本体取付金具を本体のダルマ穴にはめ込む。
③ブッシングをダルマ穴にはめ込む。

※必ず2人で作業をしてください。



④もう一方も同様に取付ける。

※リングは有りません。

6 器具の高さを調節する

ワイヤーストッパーでワイヤーの長さを調整する。

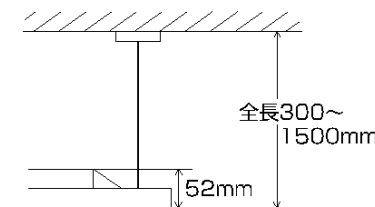
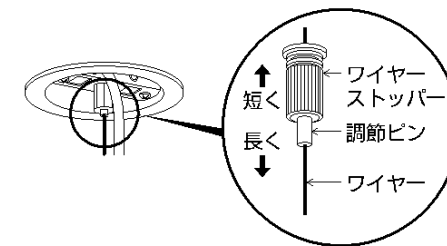
＜ワイヤーを短くする場合＞

本体を持ってワイヤーをワイヤーストッパーに押し込む。

＜ワイヤーを長くする場合＞

本体を持って調節ピンを押し込みながらワイヤーをワイヤーストッパーから引き出す。

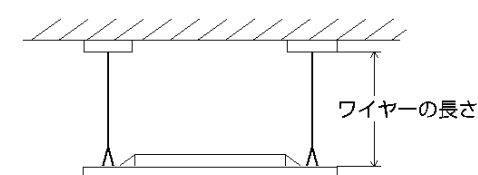
※必ずワイヤーの長さは左右同じ長さにして本体が水平になるように調整してください。
破損・落下によるけがの原因になります



7 電源コードの長さを調節する

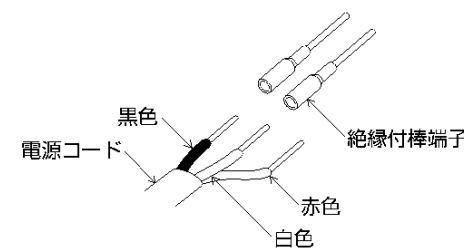
高さ調節した後、ワイヤーの長さより約400mm長くなるように電源コードを切断して調節する。

※電源コードの長さはワイヤーより短くしないでください。
(電源コードで器具を吊らないでください。)
破損・落下によるけがの原因になります。

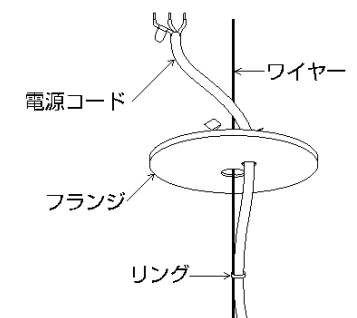


8 絶縁付棒端子を取付ける

電源コードの被覆をむいて絶縁付棒端子を差し込んで圧着する。



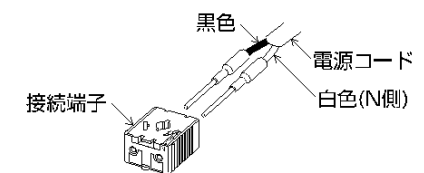
9 フランジを取付金具から外した後、電源コードをリング・フランジに通す



10 電源コードを接続する

電源コードを接続端子に確実に差し込む。

⚠警告 電源の接続を確実に行ってください。
接続が不完全な場合は火災の原因になります。



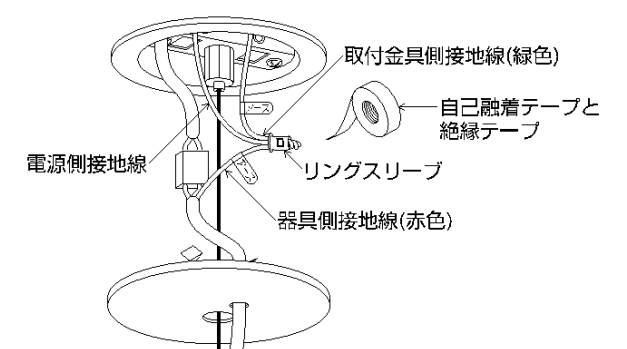
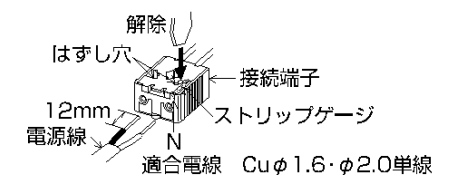
11 電源線を接続する

ストリップゲージに合わせて電源線の被覆をむき、接続端子に確実に差し込む。
はずす時ははずし穴に幅6mmのマイナスドライバーを差し込み、電源線を抜く。

※D種(第三種)接地工事を行なう。

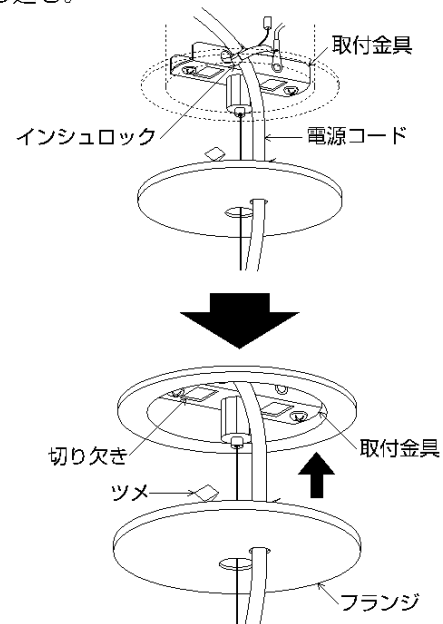
※電源側接地線と器具側接地線(赤色)と取付金具側接地線(緑色)はまとめて接続してください。

⚠警告 電源の接続を確実に行ってください。
接続が不完全な場合は火災の原因になります。



12 フランジを取付ける

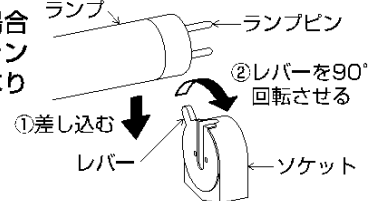
本体からの電源コードをインシュロックで取付金具に固定し、フランジのツメを取付金具の切り欠きにはめ込む。



13 ランプを取付ける

ランプピンをソケットに確実に差し込み、レバーを90°回転させて取付ける。

※差し込みが浅い場合は器具の故障やランプ切れの原因になります。



14 点灯の確認を行なう

■器具の高さ調整について

- 電源コードの長さはワイヤーより短くしないでください。(電源コードで器具を吊らないでください。) 破損・落下によるけがの原因になります。
- 必ずワイヤーの長さは、左右同じ長さにして本体が水平になるように調整してください。破損・落下によるけがの原因になります。
- ワイヤーを短くする場合は、電源コードがたるんで器具に触れないようにしてください。(器具に触れる場合は工務店・電器店に依頼してください。) 火災・感電の原因になります。

1 電源を切る

2 フランジを取外す

フランジを下に引き下げる。

3 ワイヤーを調整する

<ワイヤーを短くする場合>

ワイヤーをワイヤーストッパーに押し込む。

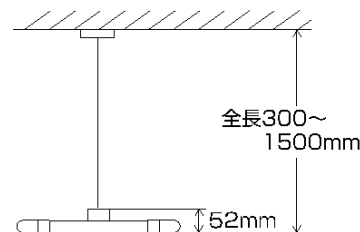
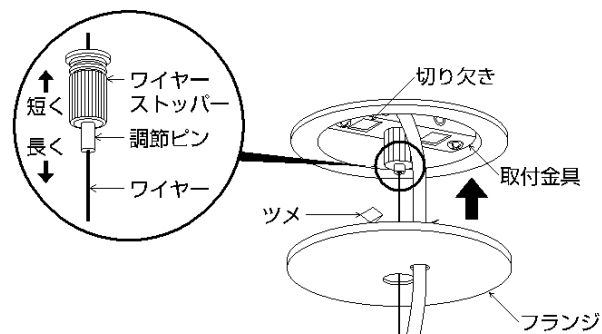
<ワイヤーを長くする場合>

調節ピンを押し込みながらワイヤーをワイヤーストッパーから引き出す。

※ワイヤーの調整ができない場合は、工事店・電器店に依頼してください。

4 フランジを取付ける

■施工手順 12 を参考にフランジを取付ける。



器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上のご注意

- 照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8~10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。放置すると、火災・感電・故障の原因になります。
- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。器具と音響製品を離してご使用ください。
- 多灯用器具は間引き点灯できません。

■LEDユニットについて

- 明るさが70%になるまで平均約40000時間です。
- LEDのみの交換はできません。
- LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- LEDにはバツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。

■故障ではありません

以下のような症状は、ランプが寿命末期になり、器具の保護回路が働いたためで、故障ではありません。

点灯中に突然ランプが・・・

- ・消灯もしくは点滅する
- ・消灯して暗くなったり、豆球が点灯する
- ・調光操作ができなくなったりする

いずれの場合も電源を入れ直すと再び点灯するが、しばらくすると同じ状態になる

電源を切ってランプを交換して電源を入れ直せば正常に点灯します。

■ランプ交換について △注意 ランプ交換の際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

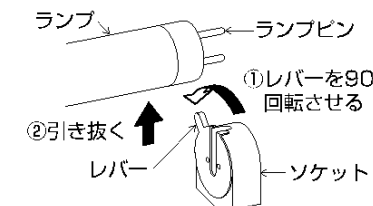
△警告 指定のランプ以外は使用しないでください。間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因になります。

△注意 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。やけどの原因になります。しばらくしてから行なってください。

1 電源を切る

2 古くなったランプを取外す

レバーを90°回転させて、ランプを引き抜く。



3 新しいランプを取付ける

■施工手順 13 を参考にランプを取付ける。

4 使用済みのランプは

必ず市区町村の指示に従い、処理してください。

■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 蛍光灯の両端が黒ずみだしたら交換時期です。長い間使用していると知らないうちに暗くなってきます。定期的に交換しましょう。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。